

2025 年度 関西国際空港航空機事故消火救難総合訓練

11月13日(木) 13:30~15:30



主催

関西国際空港緊急計画連絡協議会

1. 目的

本訓練は、空港周辺海域で航空機事故が発生した場合に備え、関西国際空港緊急計画に定める海上事故対応要領に基づき、各関係機関と緊密な連携と協力により、迅速かつ適切な消火救難・災害医療活動を実施することを目的とする。

2. 着眼事項

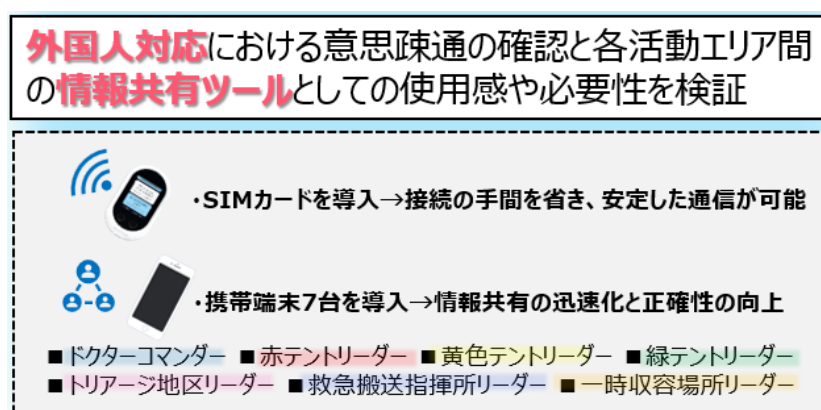
(1) 海上事故における情報共有体制及び事故海域の救助活動の検証



(2) 狭小化を踏まえた救護所での災害医療活動の検証



(3) 災害現場で使用するコミュニケーションツールの検証



3. 訓練想定

『関西国際空港を離陸したABCD航空2025便、A320型機が離陸直後にエンジントラブルが発生。関西国際空港への引き返しを決定するも、関西空港北東側海域、空港周辺グリッドマップ『14-KK』付近に着水した。』

4. 航空機情報

ABCD 航空 2025 便 A320 型機 関西国際空港発 成田国際空港 行き

5. 実施場所
(1) 海上部分：海上アクセス地区湾内外
(2) 陸上部分：海上アクセス地区
(3) 遺体仮安置所および一時収容場所：展望ホール、ノースエリアオペレーションセンター
(4) KIX JCMG：関西エアポート(株)ビル5階「KIX Joint Crisis Communication Center」

6. 参加機関等
参加機関：約60機関 (KIX JCMG運営協議会参画機関、視察・見学含む)
参加人員：約600名
参加車両：10台
ヘリコプター：1機/関西空港海上保安航空基地
船艇：9隻/海上保安庁、大阪市消防局、堺市消防局
大阪府警察水上警察署、大阪府漁業協同組合連合会

7. 訓練項目
(1) 事故通報、情報伝達訓練
(2) ピックアップ救助訓練
(3) 潜水捜索救助訓練
(4) 海面漂流者救助訓練
(5) 消防艇放水訓練
(6) 救護所設置訓練
(7) 災害医療活動訓練
(8) 担架搬送訓練
(9) トリアージ訓練
(10) 救急搬送訓練
(11) 一時収容場所対応訓練
(12) 現地調整本部訓練
(13) 遺体身元確認訓練
(14) KIX Joint Crisis Management Group 設置運用訓練

8. 講評 関西空港海上保安航空基地 基地長 林 博之

9. 挨拶 関西エアポート(株) 代表取締役社長 CEO 山谷 佳之

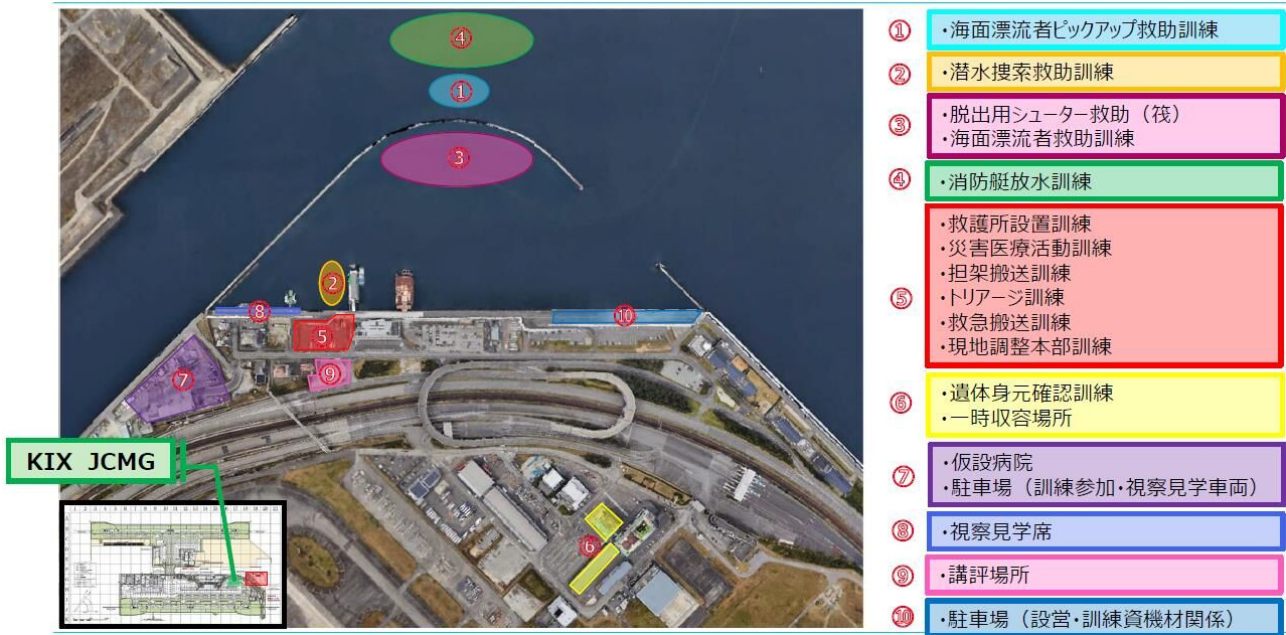


視察見学テントの位置については次のページの全体図エリア⑧になります。

講評隊形図

演 台	
前列	後列
大阪府警察本部	ZCO西日本
関西空港警察署	大阪急性期・総合医療セン
関西空港海上保安航空基地	近畿大学医学部
貝塚市消防本部	関西国際空港クリニック
岸和田市消防本部	堺市立総合医療センター
忠岡町消防本部	日本赤十字社大阪府支部
和泉市消防本部	岸和田徳洲会病院
泉大津市消防本部	りんくう総合医療センター
堺市消防局	関西空港検疫所
大阪府消防局	岸和田市医師会
シヨンサービス株式会社	貝塚市医師会
関西エアポートオペレーション株式会社	泉佐野泉南医師会
泉州南広域消防本部	大阪航空局関西空港事務所

総合訓練会場（全体図）



海上事故での情報共有	
【放水訓練】	海上保安庁 大阪市消防局 堺市消防局 関空エンタープライズ㈱
【ピックアップ救助訓練】	海上保安庁
【漂流者救助訓練】	海上保安庁 大阪府警察 大阪府漁業協同組合
【ドローン捜索訓練】	大阪市消防局
【潜水救助訓練】	海上保安庁 堺市消防局 泉州南広域消防本部
【揚陸搬送訓練】	海上保安庁 大阪府警察 大阪府漁業協同組合

